

琉球大学学術リポジトリ

沖縄の一般住民における内臓脂肪蓄積に関与する因子

メタデータ	言語: en 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-10-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新垣, 伸吾, アカラキ, シンゴ, Arakaki, Shingo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/42585


(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

Factors associated with visceral fat accumulation in the general
population in Okinawa, Japan

(沖縄の一般住民における内臓脂肪蓄積に関与する因子)

氏 名 新垣伸吾 

【	研	究	目	的	】														
内	臓	脂	肪	蓄	積	は	高	血	圧	、	糖	尿	病	、	脂	質	異	常	
症	を	含	む	メ	タ	ボ	リ	ッ	ク	シ	ン	ド	ロ	ーム	と	の	関	連	
性	が	報	告	さ	れ	て	い	る	。	内	臓	脂	肪	蓄	積	は	CT	で	の
評	価	が	標	準	的	で	あ	る	が	、	血	液	検	査	デ	ー	タ	や	臨
床	像	と	の	関	連	性	は	あ	ま	り	知	ら	れ	て	い	な	い	。	こ
の	よ	う	な	背	景	の	も	と	今	回	我	々	は	沖	縄	県	の	一	般
住	民	を	対	象	に	、	内	臓	脂	肪	蓄	積	と	関	連	の	あ	る	臨
床	像	と	血	液	検	査	デ	ー	タ	を	検	討	し	た	。				
【	対	象	と	方	法	】													
2008	年	4	月	か	ら	2009	年	3	月	ま	で	に	沖	縄	県	総	合		
保	健	協	会	で	人	間	ド	ック	を	受	診	し	内	臓	脂	肪	面	積	
(Visceral	Fat	Area	以	下	VFA)	を	測	定	し	た	1151	例	の	う			
ち	HBs	抗	原	お	よ	び	HCV	抗	体	が	陽	性	、	ま	た	は	純	ア	
ル	コ	ー	ル	摂	取	量	が	週	280g	以	上	の	多	量	飲	酒	者	で	
あ	る	147	例	を	除	い	た	1004	例	(男	性	540	例	、	女	性	464	
例)	を	対	象	と	し	た	。	検	討	項	目	は	臨	床	像	で	年	
齢	、	身	長	、	体	重	、	body	mass	index	(BMI)	、	腹	囲	、	収	
縮	期	血	圧	、	拡	張	期	血	圧	、	臍	レ	ベル	で	の	CT	内	臓	
脂	肪	面	積	、	飲	酒	習	慣	、	採	血	で	Hemoglobin	(HGB)	、		

Platelet count (PLT)、	Aspartate aminotransferase 、	Alanine		
aminotransferase 、	γ -glutamyl transferase 、	Alkaline phosphatase 、		
Cholinesterase 、	Total cholesterol (TC)、	High-density lipoprotein cholesterol		
(HDL-C)、	Low-density lipoprotein cholesterol (LDL-C)、	Triglyceride		
(TG)、	空腹時血糖、	ヘモグロビンA1c、	尿酸、	
とした。	臍レベルの VFA100cm ² を	カットオフ値と		
して	内臓脂肪蓄積に関わる	因子を検討した。		
【結果】				
対象の平均年齢は	55.6 ± 11.6 歳、	BMI は	24.9 ±	
3.4 kg/m ² で	全体の 44.8% が	肥満 (BMI ≥ 25kg/m ²) で		
あった。	VFA と腹囲は	男女とも正の相関を認		
めたが	男性より女性のほう	が高い相関を示し		
た。	単変量解析では	高齢の男性、	BMI 高値、	
収縮期	血圧高値、	拡張期	血圧高値、	HGB 高値
の群で	VFA が高値であ	った。	また上記に加	
男性では	TC 高値、	女性では	PLT 低値と	飲酒習慣
のある	群でも	VFA が高値であ	った。	多変量解
析では、	年齢 ≥ 56 歳、	男性、	BMI ≥ 24.4kg/m ² 、	
BP ≥ 149and/or90mmHg、	TG ≥ 149mg/dl、	飲酒習慣を有		
することが	VFA 高値に	寄与する	因子であ	

た。男女別では、男性では年齢 ≥ 56 歳、BMI $\geq 25\text{kg/m}^2$ 、TG $\geq 149\text{mg/dl}$ であり、女性では年齢 ≥ 56 歳、BMI $\geq 24.4\text{kg/m}^2$ 、HDL-C $< 40\text{mg/dl}$ 、飲酒ありの群が VFA 蓄積に寄与する因子であった。

【結論】

内臓脂肪はメタボリックシンドロームの治療の最大の標的である。本研究において内臓脂肪蓄積に関与する因子は性差があり、男女別にリスク因子を考慮して対応することが病態の改善に寄与する可能性があると考えられた。